

第7回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和3年3月23日（木） 13時30分～

場 所：市民活動センター 2階 大会議室

出席者：17人

会長	山家 裕史	湖西市副市長
副会長	山本 信治	湖西市産業部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学准教授
委員	諸井 宏司	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	平野 隆広 (代理：今泉 正義)	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎 (欠席)	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	江間 綾子	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親 (欠席)	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	仲野 弘己 (代理：松林 花奈)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	内海 孝久 (欠席)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (欠席)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	佐藤 幸夫	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	土屋 守廣	湖西市 都市整備部長
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係長
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任
事務局	小笠原 大悟	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任

資料 No.	配付資料タイトル
1	地域公共交通確保維持改善事業 第三者評価委員会の評価、報告について
2	湖西市企業シャトル BaaS 事業実証実験の報告について
3	浜名線湖西系統の今後の対応について
4	特別運賃割引（夏休み小学生 1 乗車 50 円バス）の実施について

1 開会

2 会長挨拶

皆様、本日は年度末の大変お忙しい中、令和2年度 第7回「湖西市地域公共交通会議」に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、みなさまにご協議いただきました「湖西市企業シャトルB a a S事業」について、新所原地区、鷺津地区にて第一期の実証実験を昨年、無事終えることができました。なお、第二期につきましては、新所原地区で予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルスの関係で首都圏や愛知県等で緊急事態宣言が発出されたことを踏まえまして中止とさせて頂きました。本日、事務局より実証実験の報告がありますので、ご確認をいただければと思います。

また、4月よりデマンド型乗合タクシーの実証実験を新居地区の一部にてスタートさせます。白須賀地区、知波田地区と拡大してきて、今回は3地区目となります。

今後もより良い公共交通の実現に向けて、委員の皆様には是非とも忌憚のない御意見を頂戴できずと幸いです。本日は、どうぞよろしく御願いたします。

3 報告事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業 第三者評価委員会の評価、報告について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

<座長>

- 今回オンラインで実施したということでしたが、委員からの意見等はどうでしたか。

<事務局>

- 当日の意見内容を取りまとめたものが配付しました二次評価結果となります。

<委員>

- 今後の対応についての中でデマンド型乗合タクシーについて、地元自治会の会合等に出向きとありますが、現状コロナ禍の中で実施できなかった経緯があると思いますが、来年度についてどのような対応をしていくのか考えがあれば教えてください。

<事務局>

- コロナ禍の状況がわからない中で状況をみて少しずつでも実施できればと思います。それ以外では、市ウェブサイトでの啓発やチラシ配付などで対応をしていきたいと考えております。

<座長>

- 利用していない方の意見を聞くようにという評価結果がありました。このような状況の中で難しい部分もあるかと思いますが、工夫をして実施していただければと思います。

(2) 湖西市企業シャトル BaaS 事業実証実験の報告について

<事務局>

- 資料説明（資料 2）

<委員>

- 来年度以降の話になりますが、何月から実証実験を実施するや何社の企業様と実施するなど、内容が決まっていれば教えていただきたいです。

<事務局>

- 時期については未定となっています。期間については、今年度の1ヶ月からもう少し長い期間で実施してみたいと考えています。また、参加企業については、企業の従業員の混乗や共同運行、コーちゃんバスとの共存などについても検討してみたいと考えておりますので、実験項目を増やしながら引き続き実証実験を実施してみたいと考えております。

(3) 遠鉄バス浜名線について

<遠州鉄道>

- 資料説明（資料 3）

<委員>

- 新型コロナウイルス感染症の影響がなくなった際に再度運行するという事はありますか。

<遠州鉄道>

- 当初は感染症の影響もここまで延びるとは考えていなかったため、影響がなくなれば利用者も戻ると考えていました、しかし、コロナ禍の状況が延びたことで、様々なところでリモートの環境が整ってまいりました。これにより通勤や出張をしなくても在宅等で仕事ができることや、公共交通機関を使用して通学していた方が自転車通学への転換も起こっております。この状況の中で利用者の方が基に戻ることは考えづらいと考えております。また、レジャーや観光等の自粛による影響も多々出ておりますので、再度運行をするというのは難しいと考えております。

<委員>

- 市へのお願いになりますが、現在何かしらの移動手段がある方よりも高齢者などの移動手段が少ない方から何とかならないかといった声を頂いている。何かしらの方法を検討することができるのであれば検討をお願いしたいです。

<事務局>

- そのようなご意見等を踏まえて市としてどのような対応をとっていくか検討を行い、公共交通会議の場でご協議いただきたいと考えております。

<委員>

- 浜名線については、湖西市から浜松駅まで JR 東海道線と平行して運行しており、どのような存在価値があるかという部分ではないかと思えます。その存在価値が薄れているという部分が浜名線の利用実績に現れていると思えます。1日6便の中で2便は児童の通学、それ以外の便は長距離

での移動で使用されていないと思われます。需要の高い児童の送迎であれば2種免許の不要なスクールバスなどで他社においても対応ができるのではないかと思います。また、短距離での移動であればタクシーでの対応も可能ですので、ある程度の役割分担をして違う形態での移動手段の提供が可能ではないかと思います。同じ遠州鉄道のグループ会社として湖西市の公共交通に微力ながらお手伝いできることがあればご協力したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

<委員>

- スクールバスの話がでしたが、新居小学校の児童が乗車しているということで、子供たちの通学をどのように考えているのか構想のようなものはありますか。

<事務局>

- 選択肢は様々な方法があるとは思いますが、現時点では方向性を示すことが難しい状況です。どのような形で対応するのか、それとも対応はしないのかという部分まで選択肢としてはあると思います。それらの検討を進めて次回以降で方向性をお示しさせていただければと思います。

<委員>

- 立地適正化計画の中で公共交通網の話も当然出てきております。浜名線の運行区域も含めて市民の方にとって使用しやすい公共交通網を考えていかなければいけないと思います。また、バスの運行だけではなく場所毎で利便性の高いサービスを検討しなければいけないと思います。

<委員>

- 遠州鉄道にはナイスパスがありますが、交通カードが使用できないと思います。その点について今後のお考えがあればお伺いしたいです。

<遠州鉄道>

- 交通カードの利用についてご意見は多く頂いています。弊社として、早期にナイスパスというカードを導入しました。その後、近年主流になっている交通カードが出てまいりました。致命的なのはその互換性がないところと認識しております。互換性をもたせるためにはすべてのバスに機器を設置する必要があります。古いデータではありますが、バス1台あたり数百万円程度必要となり、総額10億円近いコストがかかるものと認識しております。事業継続の観点からすると利便性が高まり利用者が増加し収入が増えるという部分や、運賃に反映させていただき収入増加などが考えられますが。現在バスを利用されている方の多くはナイスパスを使用いただいております。コスト等を考慮した結果、導入が難しいと判断をしてきた状況です。また、どの交通カードを導入するかなどの問題もあります。

<委員>

- 多額の費用がかかることは承知しておりました。国の補助等はないのでしょうか。

<委員>

- 導入に関する補助メニューがあるかどうかすぐにお答えができませんので、後日ご報告させていただきます。

<委員>

- 交通カードを持っていれば現金を持たずに1日過ごせてしまう時代ですので、そういった企業努力等がなければ退出に関して市民の理解が得られるのかという点もあります。自治体や公共交通

以外の事業者の方も同様ですが、そういった努力をしていかなければいけないと思います。

<座長>

- 交通カードの導入については、インバウンドなどの観光が絡めばあるのかもしれないが、それ以外の日常生活の関係では現在ないのかもしれませんが。他でも同様の話を聞きます。システムの導入に多額の費用がかかる部分が改善されなければ難しいと思います。また、かかった経費に対しての増収が見込めれば良いのかもしれませんが、現状それに見合う増収が見込めない部分が問題になっていると認識しています。

<委員>

- 経費がかかるから難しいという部分をどのように市民の方に説明をしていくか。その部分が見えない、実感として感じるができないことが問題ではないかと思います。

<遠州鉄道>

- このようなご意見は度々いただいております。それを市民の方にお伝えするのも使命と思っております。現在も補助メニューの把握を含めて研究しておりますので、引き続き継続してまいりたいと考えています。

4 協議事項

(1) 特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<座長>

- 例年通り実施ということで利用人数の把握を確実に行うようにしていただきたいと思います。

<座長>

- 協議事項1「特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和2年度第7回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上